

## 意見書を提出しました

## 高校卒業時までの子ども医療費窓口負担の無料化及び学校給食費の無償化を求める意見書

少子化は、地域社会の持続可能性のみならず、日本社会の存立自体をも脅かす深刻な状況となっている。

このような状況の下で、少子化の進行に歯止めをかけるためには、安心して子どもを産み育てることができ環境を整備することが極めて重要であり、そのためにも、子どもの医療費や教育費など、子育て世帯の経済的負担を軽減することが強く求められている。

子どもの医療費については、子どもたちの適切な医療の確保を図るため、多くの地方公共団体が独自に助成措置を講じているが、団体の財政力の差などにより、対象年齢や所得要件、受給者負担等に様々な差異が生じている。

また、学校給食は子どもたちの心身の健全な発達に資するものであり、望ましい食習慣を養う上でも重要であるが、その財政的負担の大きさから、小学校・中学校ともに無償化を実施している地方公共団体は僅かにとどまっている。

本来、子どもの医療費や学校給食費の負担軽減については、地方公共団体の財政力の差によって地域格差が生じることがないように、国の責任において全国一律の制度を創設する必要がある。

よって、国においては、次の措置を講ずるよう強く要望する。

## 記

- 1 高校卒業時までの子ども医療費窓口負担を無料化すること。
- 2 学校給食費を無償化すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

## 編集後記

今年の夏の気温は気象庁が1898年より統計開始以降、最も暑くなりました。地球温暖化による異常気象の影響は年々激しくなっているように思います。今夏は土岐市において大きな災害もなく、安堵しているところではありますが、全国に目を向けますと甚大な被害が出ている地域もみられました。また世界各地でも、アフリカのリビアでは2万人を超える死者行方不明が出るなど、毎年のように各地で異常気象によるとみられる甚大な災害が起こっています。哀悼の意を表すと共に早期の復興を祈るばかりです。

身近なところで被害が出ていないと油断することなく、災害対策の基本となります「自助共助公助」の観点から、まずは「自助」の部分で日ごろからの備えを心がけ、「公助」の観点からも備えを着実に進めていきます。

(文責：伊藤 公男)

## 議会だより編集委員会

委員長：塚本俊一 副委員長：渡邉豪

委員：加藤淳一 北谷峰二 大久保一夫 木股英明 安藤勝彦 伊藤公男

|                      |           |           |            |            |                     |             |
|----------------------|-----------|-----------|------------|------------|---------------------|-------------|
| 12月26日(火)            | 12月18日(月) | 12月15日(金) | 12月14日(木)  | 12月13日(水)  | 12月12日(火)           | 11月30日(木)   |
| 本会議                  | 総務産業建水委員会 | 文教厚生委員会   | 本会議        | 本会議        | 本会議                 | 本会議         |
| 最終日 (委員長報告 質疑・討論・採決) |           |           | 4日目 (一般質問) | 3日目 (一般質問) | 2日目 (質疑・委員会付託・一般質問) | 初日 (議案提案説明) |

次回12月定例会(予定) ※午前9時開会予定(変更の場合あり)